

KSKS

C-1 豊中通

【アイエルちゃん新聞】

VOL. 64

2024年 11月号

★スタッフ対談編★
 Q. 道徳と人権の違いは？

瀧本 道徳は小学校で授業としてやってきた薄い記憶があるという感じ。この年まで生きてきて、何かぼんやりとして決められない、定まっていなくてイメージ。人権はハッキリとルールを決められているもの。

大岩 道徳は生きていく上での、善悪などの判断基準。時代によって変化がある。人権は本来は普遍的なものだが、時代によって変化している。人権とは即ち権利であり、道徳は判断材料。そもそも質が違う。

特集：酒の肴に(?)道徳と人権!
 - 多角的に考える -

根筋 人権とは、パッと思い付くのは条約や憲法や法律。国際レベルや政治レベルで決められるもの。道徳は人の感情とか価値観、その人が良かれと思ってること。例えば、お節介で要らんことする人がいたら、そのお節介もその人の中では道徳で、権利が建前の部分。きちっと明文化はされないが、人間の心の、何か曖昧な部分が道徳の正体というイメージが、物心が付いた頃からあった。

西村 人権も道徳も、生まれた時から与えられると思うが、人権は一度与えられたら、

死ぬまで変わりようが無いのに、道徳は生活する中で少しずつ育っていく感じ。

西村 人権はMUSTで道徳はBETTER。人権は絶対に揺るがないもので、道徳は「そうあった方がいいよね、こうした方が望ましいよね」というレベル。自分が培ってきた価値観とか、受けてきた教育によって作られていく。

根筋 人権が固体なら、道徳は液体というイメージ？

西村 ハハハ、難しいことを言う！でも、そうかも知れない。固体は絶対的で確定されているが、水分は流動的だから。

塚原 人権は誰でも平等に与えられている。昔は障害が重くなったら死なないといけなくて思っていたが、今は人としての



根筋 小学校で道徳の授業で使っていた、「にんげん」という教科書を思い出す。普通は科目と教科書の名前は同じなのに、道徳だけ「にんげん」。6年になっても平仮名表記なのはとても不思議だった。道徳で初めて「部落」と「差別」という言葉を知って、豊中にも被

差別部落があったという話をよく聞いた。障害者を意識しての道徳は？と言うと、配慮かな？配慮される側が「されて当然」と思い過ぎるのは良くないが、配慮することは他者の状況や気持ちを想像する力という意味で、道徳になる。

川崎 小学校のときに道徳の授業が、勉強しなくていいから楽だなくと(笑)。大人になって今思うと、道徳は善意の押し付けとか、強制ボランティアみたいに映ってしまう。でも、道徳の授業が無かったら、それはまた良くないのかな？自分持ってもらおうかな？とか。教える方も難しいと思う。

西村 例えば電車で乗るとき、「困っている人がいたら助けよう」というのが道徳」というイメージは大きい。駅員がスロープを用意してくれるのは、道徳というよりは、安全に乗れるための権利に近いかな？

大岩 道徳は生きていたら常にある。さっき根筋が想像力と云ったのが凄くしっくりくる。やはり相手のことを想像して、思いやる、その中で自分が取るべき行動を考えるから。

塚原 私は昔から言語障害があって、子どもを産んでから車いすの生活で、保育所や学校は配慮があったと思う。

★道徳・人権、大いに語る！

上田 道徳と人権を考える際は、先ず人権に焦点を当てる

「カタイ話だっ必要よ」。そんな「某スタッフの一言」で決まった今号の特集は、「人権と道徳について」です。日頃、人権問題に触れる機会が多い中で、道徳の存在に今一度スポットを当ててみることにしました。まずは編集スタッフ同士でこのテーマについて対談を行い、それを踏まえて、多角的に考えるべく、次の3ヶ所(4名)取材しました。

① 大阪大学人文学研究科、臨床哲学准教授 小西真理子さん

② 豊中市人権教育推進委員協議会以下 人権協)代表、元教師、当事者の親 青木康二さん

③ 豊中市教育委員会、学校教育課課長 花山司さん・同主幹 川見ゆかさん

④ は学識経験者の立場で「ケアの倫理」の視点から、②は民間の立場から、そして③は行政の立場から、それぞれ語って頂きました。紙面より厚く御礼申し上げます。内容が広範囲で難しいだけに、リラククスして、酒の肴のつもりで読み始めて下さい。

編集人 NPO法人C-1 豊中
 豊中市 蛸池 中町2の3の1の203
 P: <http://www.citoyonaka.com/>
 Twitter: @citoyonaka
 Email: zitsuo@citoyonaka.com
 TEL 06 (6857) 3601
 FAX 06 (6857) 3602
 発行人 関西障害者定期刊行物協会
 大阪市天王寺区真田山町2の2
 東興ビル4階 定価1000円



根筋 ああいう対応は、マニュアルや研修もあるだろう。

西村 マニュアルがすごく、いい面も悪い面もあって、鉄道会社によって「絶対乗車時間15分前には改札に着かないといけない」ということも言われる。それは安全に

ことが重要。人権とは、障害者の有無に関係なく、全ての人が平等に持っているべきもの。道徳の授業では、障害者を可愛そうと思うようにアプローチしていたが、それはかえって障害者に対して、「特別感」を強めてしまう。対等であるためには「お互い様精神」が必要。これは、困っている人を助けるのは自然で、「お互い様やん」という感覚。

「お互い様精神」は、人権的というよりは道徳的な視点のように感じる。障害者というレッテルを消して、人間同士として平等に接するために、「お互い様精神」が必要かな？と。社会が変わるためには、人権を基盤とした考え方が不可欠。ただ、権利を主張するだけでは、真の理解を得るのは難しいかな？

障害者の環境だけを一般学校や一般就労に変えると、かえってお互い無理があるかも。根筋 人権的なアプローチから始まるのが大事だけど、その前に道徳的な感覚が必要なのかな？

根筋 人権的なアプローチから始まるのが大事だけど、その前に道徳的な感覚が必要なのかな？



大岩 例えば障害者が権利を主張したとき、それが我がままと見なされてしま

うことがある。これは運動の背景にある、当事者が主権を奪われていた歴史を、社会が理解していないからだと思う。昔は偏見や差別がより露骨で、その中で「権利を主張しようじゃないか！」という流れが出来たけど、その主張ばかりが独り歩きしたために、「じゃあヘルパー付ければ？」「専門職の人をやってもらえばいいやん」となって、人同士としての道徳的な部分が薄れてきた。

根筋 権利の主張は自分のことが中心だが、道徳は周りのことを考えることから始めると思う。例えば公共の場所ではマナーを守るとか、他人の迷惑を考えるとか。「道徳心が薄れてきた」というのは解る。大岩 その一方で世の中には、利他的な面もあると思う。「多くの人が幸せになるのがいいことだ」という考え。ただ、この考えには裏があって、「多数のためなら少数が犠牲になっても仕方ない」という思想が内在している。これは優性思想にも繋がりがねない。

上田 道徳教育が強調される一方で人権教育が軽視されると、個人や集団が特定の価値観に従うことが求められる。個々の権利や多様性が十分に認められない現象が起こる。人権教育も重視しつつ、道徳教育とのバランスを取って社会が進んでほしい。

Q 私たちはどう生きたい？ 瀧本 自分の道徳心が間違っていることもあるかも知れないが、その都度見直ししながら、自分らしく生きていきたい。

根筋 道徳が流動的なものである以上、間違えた方向に社会が傾くことも有り得る。もしそうであっても、方向を正すようにして生きていきたい。

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

西村 人権と道徳を意識するときは何かを注視しないといけないときで、時に白黒つけるかも。これからの日頃支えてくれる人を大切に生きていきたい。(担当：根筋)

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

大田 日頃、相談員をやっているが、或る人がいて、本人は「困っている人を助けるのは当然」という道徳心から、親族の人に借金を貸している。でも、実は親族の人は、自身が遊びで使うための借金を、本人から騙して盗っているだけ。この状況を権利擁護の視点で見れば、当然本人の財産を守りたい。

大阪大学 臨床哲学准教授 ①道徳とケアの倫理 道徳の一般的イメージ…「かわいそうな人がいて、何かしらあげなければならぬ」という考えが、多くの人に共有されています。 キャロル・ギリガンのケアの倫理…人々は他者に対する責任を持ち、ケアが必要であるという視点を提示しています。 エヴァ・フエダー・キティの主張…重度の障害者との関わりを通じて、自身の価値観の狭さに気付き、「障害のある人も人間である」と強調しています。 ②ケアと障害者運動の対立 障害者運動の視点…障害者は権利の主体であり、自立を求める運動を展開しています。 ケアの問題点…「かわいそうだから助ける」という、上から目線の姿勢。 ③道徳とケアの倫理 ケアを提供する側が主体となり、被ケア者(障害者)の主体性が軽視される。 ケアと自立の相性の悪さ…ケアの時間が掛かり、ケアラーが疲弊することで、ケアラー自身が「かわいそうな人」として見られる問題が生じます。 ④ケアラーへの社会的視線と免責の問題 介護殺人や虐待の免責傾向… ケアラーが加害者となった場合、「大変だったのだから仕方ない」という社会的同情が生じ、行為が正当化される傾向があります。 優生思想との関連…この免責の背景には、障害者の命の価値を低く見る、優生思想が潜在している指摘されています。 ⑤合理的配慮とわがままの認識 合理的配慮の課題…申請プロセスの複雑さや時間の掛かる手続きの問題。 教員や周囲の人々の理解不足により、配慮が「わがまま」と受け取られる場合がある。 当事者間の葛藤…障害者を持つ人々の間でも、配慮の程度や要求に対する意見の相違が見られます。 ⑥ケアのコミュニケーションとニーズのすれ違い ケアの失敗と学習…ケアを提供する側が被ケア者のニーズを完全に理解することは難しく、失敗を通じて学んでいく必要があります。 教育の重要性…お互いのニーズを理解し合うためには、コミュニケーションと教育が不可欠であり、障害を持つ人々が、その負担を強いられる現状があります。 ⑦社会構造と効率性の問題 負担の偏り…ケアや教育の現場で、効率性が重視されるあまり、個々のニーズに対応できない状況が生まれています。 スタッフ不足と過重労働…福祉現場では、ケアの必要性が高まる一方で、人員不足により適切な対応が困難になっています。 ★分析と考察 ケアの倫理と障害者の権利主張が、複雑に絡み合う現状を浮き彫りにしています。 ケアを提供する側と受ける側の間で生じる摩擦や、社会的な構造による問題点が、詳細に描かれています。 ケアの主体性と被主体性…ケアが一方的な行為になりがちで、被ケア者の主体性が損なわれるリスクが、指摘されています。 社会的認識の歪み…ケアラーの行為が免責される一方で、被ケア者の行為が厳しく非難される不均衡が存在します。 制度と現場のギャップ…合理的配慮などの制度があっても、現場での理解や実践が追いついていない現状があります。(担当：大岩)

人権協代表 元教師

教師時代の或る失敗談から

青木さんは定年まで40年以上、学校の教師をしてきました。長い教師生活を通じて、忘れられない失敗体験があります。それは学校行事で

さんは、「カタい言い方をすれば、命と命の確かめ合い。自分はこのにいるよというサインを、無視ではなく、お互いに響き合えるような関係が挨拶」と語っていました。

家の外に出たら障害者

青木さんは障害のある子の父親ですが、我が子について一言。「家の外に出れば障害者」。一歩玄関から出れば、社会環境で障害を感じさせられる場面が多々あるということ。この子の存在を知ってもらおうことが、周りから支えられやすくなることに繋がる」と考え、とにかく色々なところに連れて行きました。そんな姿を見て、間違っ

て「お父ちゃん頑張ってるなあ」と言う人も多かったとか。

ヘルパーさんって……

長年、色々な障害者と接する中で、多くのヘルパーとも出会ってきました。ヘルパーは、その殆どが社会人になってから初めて障害者と出会っています。そのため接し方が

マニユア

ル的となり、

「きちっとした介護をしなくて

は」と思

い込み勝ちになりやすいそうです。結果、極めて管理的な接し方となり、本人に寄り添おうとする姿勢が本人の願望と異なることが、多く見られるとのことでした。本人の命を守るのには勿論前提ですが、同時に生活の質を大切に、自由を尊重することは必要です。ヘルパーとしての「道徳観」が、かえって本人の権利を否定してしまったり、本末転倒になりますね。

最後に人権協の立場から、

自分を見失わないと進めない

パワハラやセクハラなどの被害について言及しました。被害者の多くは、そこから立ち直って問題解決に向かうために、或る覚悟を持たなければならぬ状況に追い詰められます。それは、自分の姿を公に晒すということ、そうしないと、組織の責任者に訴えても、事実を揉み消されてしまうのです。このような在り方は果たして正しいのでしょうか。なぜ、被害本人が自分を裸にして訴えなければならぬのでしょうか。人権協は市民団体ですが、豊中では何か起こった場合は、人権政策課や市長に物申していかなければならぬ、と話していました。

(担当：根筋)

挨拶は命と命の確かめ合いを守るべきルールはありますが、ただ「守れ！」だけではなく、「なぜ？何のために？」を知る権利が、誰にでもあります。一例として、挨拶は何故するのでしょうか？青木



は「と思

教育委員会 学校教育課

道徳の授業と教科書について

現在の小中学校では、道徳は国語や算数と同じ「教科」と位置付けられています。が、「にんげん」という副読本が使われていた時代は

「教科」ではありませんでした。人権教育の副読本は

都道府県ごとに違っており、

「にんげん」は大阪府で作られたのです。半世紀以上前は教科書も存在せず、学校ごとに先生が地域の人たちから地域での暮らしの聞き取りをし、それを手書きのプリントにして教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

切っ掛けは大阪市での事件

道徳が「教科」になる大きな転機となったのは、2011年に起こった、津市内の中学校でのいじめ自殺事

件です。この事件が大々的に報道されたことで、国として何の対策も立てていなかったのはいけないだろう！となり、「特別の教科道徳」となりました。教科になったことで、道徳は評価が付きようになりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

「道徳心のある人」と評価されるには、どうすれば良いのか？これはなかなか判断が難しいと思います。「周りの空気を読み取り、相手の求めに応じて臨機応変に動く人イコール道徳心がある」として教材として使いました。ただ、地域ごとにバラバラだと、他地域の情報は入らず、自分たちの地域に人権問題があっても、外とは共有出来ません。そのため、都道府県ごとに教材を作る体制となり、その動きが、現在の大阪府の人権教育の軸となりました。

道徳と人権はリンクしないと

ますが、それによると、人権教育で育てる資質能力として、知識的側面・価値的態度の側面・技能的側面の3つの力を示し、自分や他人の人権を守る態度を身につけて欲しいとしています。このうち価値(観)や態度の側面は、道徳教育で育てられると考えられています。だから道徳と人権は相反するものではなく、互いにきちっとリンクされるべきだ」との話でした。

変わりゆく人権問題

人権問題は時代と共に変化してきており、昔なら人権課題とは全然見なされなかった事柄が、今では問題の一つとして認識されているものが



花山 謙 長(左)、川見 圭 幹 (右)

あります。人権感覚は、今では若い世代にとっても学ぶ機会が多いので、その分研ぎ澄まされている場面もあるのではないかと考えています。寧ろ人生のベテラン世代で、人権感覚が昔のままの人もいるので、一概にどちらがどうとは言えないというのが、花山さんが抱く印象です。また学校現場では現在でも、いじめや不登校の問題が多く存在しています。行政が、スピード感を出して対応するのがなかなか難しい中で、当の子ども達自身が何とかしようと動き出して、子ども同士で話し合ったりしている事例もあるそうです。学校はそんな子どもたちを支える存在であって欲しいし、学校現場の力が大変頼もしく感じられます。不登校に関しては、色々な選択肢が権利として認められるといいですね。

主張と喧嘩は違う！

でも、意見をぶつけ合うことが出来ない人がいるようです。意見のぶつかり合いそのものが良くないという風潮が生まれ、主張の衝突を避けようという流れになっていくとこのことでした。乱暴な言い方や暴力が伴う喧嘩はいいのですが、互いの意見をぶつけ合う体験をして初めて、「次から伝え方を変えてみよう」とか、「まずは相手への意見を聞いて考えてみよう」とか、「このやり方では相手に伝わらないから、違うやり方を編み出そう」と考へるようになり、それが学びとなります。権利主張が即ち喧嘩と思う風潮が、人権教育をするのを凄く難しくしているのかも知れません。周りとの意見交換を良しとしない雰囲気だと、一人が全てを囲って抱え込んでしまう危険性が生まれます。道徳教育と人権教育を進めていくのは勿論、孤立化という問題を防ぐためにも、人と共に過ごし、人に思いを伝える機会は、失われてはなりません。

(担当：根筋)

豊中地域情報 ばびゅ〜ん!!

ミュージアム カフェ「坂」



ミュージアムカフェ「坂」は、知的好奇心を注がれる空間です。秋といえ、芸術や読書、知識欲が増していき、そのかたわら食欲の秋でもあります。そこで私は、こんなところに行ってきました。

わが豊中のまちは今から六十年前、柴原の待兼山丘陵、大阪大学豊中キャンパス内の新校舎建設中の現場から、ワニの化石が発掘されて、ワニ（マチカネワニ）で有名になってきたようです。この総合学術博物館の玄関に、本物のマチカネワニの化石の骨が私

右がホワイトチャック、左がチョコチャック。共に129円です。ランチプレートとカレーセットは、共に583円。

たがる大規模な総合大学で学生食堂もあるけど、カフェやコンビニまでもあり、学生のための生活協同組合があり、そこに加入しているから安いのだそうです（ただし組合員以外は10%上乗せとか、でもやっぱり安いんです）。この豊中キャンパスでは、あと2か所のカフェ（カフェ「カルチェ」、カフェテリア「かさね」）が加入しているそうです。その他のキャンパスにも、吹田に3か所、箕面に1か所カフェがあります。



博物館の玄関に、本物のマチカネワニの化石の骨が私の

ここは、博物館の中のカフェです。博物館に来られた方のための休憩処で、コーヒーや紅茶はもちろん、ケーキ、焼き菓子、軽食、日替わりランチなど盛りだくさんにあります。中でも、焼きカレー、マチカネワニカレー（土曜日限定販売）は、ここにしかないものだから、かわいらしくご飯が美味しそうです。



たがる大規模な総合大学で学生食堂もあるけど、カフェやコンビニまでもあり、学生のための生活協同組合があり、そこに加入しているから安いのだそうです（ただし組合員以外は10%上乗せとか、でもやっぱり安いんです）。この豊中キャンパスでは、あと2か所のカフェ（カフェ「カルチェ」、カフェテリア「かさね」）が加入しているそうです。その他のキャンパスにも、吹田に3か所、箕面に1か所カフェがあります。

一日に平均30名から40名の人が、博物館を見学した後、ひとときをこのカフェで過ごします。春休みや夏休みなど学校の定期休暇中は、子どもを連れた家族連れが多いのも頷けます。中にはショップがあり、阪大限定グッズや博物館オリジナルのグッズが揃っています。

お気を付け下さいね。皆様も学識の秋を楽しみ、そのあとカフェ「坂」で、おいしいひと時を過ごされてみては？ (担当：塚原)

静かだけれどゆっくり落着いた雰囲気の中で、お話しを打ちながら、考古学や科学の歩みなどの話に花を咲かせるのもよし、暖かい季節には、テラス席で物思いに一人ふけるのも最適な場所です。

取材の後、博物館も見学しました。マチカネワニは、今どんな気持ちで人間たちを見ているのでしょうか？もしかしたら、人間たちの未来を知っているのかもしれないですね。久しぶりの博物館でしたが、私なりに空想の世界に浸れて楽しめました。館内はバリアフリーですが、博物館玄関前が傾斜のきつい坂になっていきますので、特に車いすの方は、お気を付け下さいね。

所在地：豊中市待兼山町1-2
電話：06-4708-5210
営業時間：11時半〜14時
定休日：日曜・祝日

小説【雅人の一日】

真夏のシルクスイート

「何回も味見したから、ぼく的には自信があります」
ベッドに横たわったまま、上半身だけ軽く伸びをして

「そらあ、楽しみやなあ」。
すこし身をよじって笑顔を伝えるべくに、彼は力こぶをつくって応えてくれた。

「初任者研修の担当の先生は『利用者さんのモノを味見するなんて、言語道断です』って、言いきってたけどね。

ヘルパーが材料費を出しているわけじゃないし、調理するんだったら、スマホでレシピを調べたらいいって、考え方なんだ」

「一理はあると思うけど、おたがいのやり取りの中でうまれるストーリーがたまらんオモロイのやな」

「そういえば、肝心のまさどさんに味見してもらうのを忘れてましたね」

「ええのや、単純に忘れただけで、ヘルパーやからって、特別に意識してへんかっ

たやろ？」

「ズボシです。さすが、すぐらいですね。信じられないぐらいイメージどおりに味つけできたから、舞いあがっちゃったんです」

耳たぶを赤らめて頭をかいている童顔に、フワフワしたうらやましさや身体の内からこちらへ降りてきて、たちまちどこかに消えていった。

「ところで、なんかひと手間かけたんかあ？」

「みそ汁の仕上げに、まさどさんの好物を2滴、3滴垂らしておいたんで、ゆっくり味わってくださいね」

「ラム酒は、わが家には置いてなんかいいひんしなあ」

「正解はゴマ油だったんですよ」

月山くんは、生真面目そのものだった。

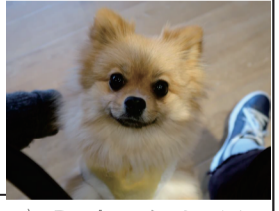
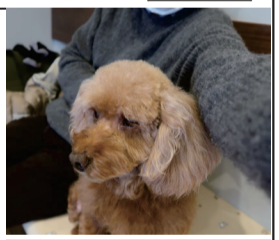
『やきいもお、石焼きいもお、おいも。あまくて、とろけるシルクスイートだよお』

神社の木立ちのざわめきの向こうから、季節はずれの売り声が割りこんで、思わずぼくと月山くんは顔を見あわせた。

「真夏にやきいも屋って、初めてだなあ。しかも、シルクスイートかあ……」
まるでテレビドラマに登

ねや散歩 Part. 17

実家で飼っていた愛犬ハナが亡くなって3年、犬に癒やされる時間は、日常からレア体験へと変わってしまった。そんな私が注目したのが、犬カフェ。かつて猫カフェには何度か行ったことがあり、何匹か懐いてきて楽しかった。猫も好きだが、犬に触れてみたい気持ちも強かった。初めて行った犬カフェは、吹田市千里山に在る「COCOMO」である。予約は不要。阪急関大前駅と千里山駅の丁度間ぐらいにある。飛び出し防止の低い柵をまたいで店内に入ると、勢いよく数匹の犬が駆け寄ってきた。取り敢えず席に座って注文をしたが、座るが早いか、一匹の犬が私の傍に駆け寄ってきた。トイプードルの、名前は「あられ」。ほかにポメラニアンの「わかめ」や、スムースダックスの「なな」といった犬たちと、遊んだり引



イスもあり、少し振りに犬が自分の膝上で寝そべった気分は、最高だった。何人かのお客が入って来て、自分の犬を連れてきた人もいたが、私の足元に駆け寄ってきた犬がいて嬉しかった。

2件目に訪ねた犬カフェは、ミナミのド真ん中は道頓堀に在る、「豆柴カフェ」である。その名の通り、犬たちは全員柴。実は私が生涯で縁のあった犬の多くは柴犬で、従って柴犬への愛着は強い。そこで嬉々として豆柴カフェに行ったのだが、ここは要予約。エ

階段で受付を済ませ、さらに階段を3階まで上がって暫し待機。「行列の出来る犬カフェ」状態だった。1回あたり利用時間が30分という制限があり、実際、アツという間に30分が過ぎてしまった。終始豆柴大合唱&駆けっこ状態だったが、何せ外国人客の多さが

目を引いた。ゆるり触れ合おうという点では、正直物足りなかつたかな？

豊中市内でも一箇所訪ねたが、ここは正確に言うところ、犬カフェ。実は犬カフェというのには元々お店の犬がいて、お客が犬と触れ合うための場所を指す。ドッグカフェは、自分の飼っている犬を連れてくる場所、そのためのドッグランを併設している店が多い。山ノ上町に在る「うくっぴ」というカフェにも、庭ほどのドッグランがあった。店内は交流会よろしく賑わっており、何匹かの犬はすぐに懐いてきて、飼い主も快く犬に触らせてくれた。この店も予約は不要。これからも、犬と過ごせるカフェを是非訪れたい。

(ねやたろう)

